

東日本研修センター公開講座の実施について

1. はじめに

総務省主催の平成26年度「第30回情報通信月間（5月15日～6月15日）」に合わせて、光ファイバ通信基礎知識の説明と光ファイバ接続等の体験が出来る公開講座を実施しました。

2. 実施概要

(1) 講座名

「ブロードバンドサービスを支える技術と設備～情報通信設備の紹介と光ファイバ接続の体験～

(2) 実施日 平成26年5月17日（土）
13:00～16:40

(3) 参加者数 14名
(教諭7名、学生2名、自治会5名)

(4) 内容

ブロードバンドサービスを提供する情報通信設備について、日頃目にする事がない設備の内側を紹介すると共に光ファイバ芯線接続を実際に行いました。

主な実施項目は以下の通りです。

- 光ファイバケーブル・接続機の概要（座学）
- 光ファイバケーブル接続の体験
- 施工実習

また、今回は研修施設の見学と共に高所作業車の搭乗体験等を通じて、情報通信エンジニアリング協会での「安全向上への取り組み」についても紹介しました。

主な実施項目は以下の通りです。

- マンホール内における酸素欠乏の危険
- 高所作業車の搭乗体験
- 電源線接続作業における短絡の危険
- 静電気防止ツールの効果体験 等

3. 実施状況

公開講座の様様を写真でご紹介します。

開講模様



光ファイバ接続体験



安全向上への取り組み紹介



4. 参加者の主な感想

教諭の方からは、光ファイバケーブル接続体験を通じてブロードバンドサービスを支える技術が繊細な作業の上に成り立っている事を認識出来た。本講座の体験を学校の活動に活かしたい。

自治会の方からは、マンホール内入溝・高所作業車への搭乗等から安全向上に対する情報通信エンジニアリング協会の取組みを理解する事が出来た。

5. おわりに

多くの方に情報通信サービスを支える技術に興味を持って頂ける事が出来ました。参加者の皆様に喜んで頂けるように引き続き、公開講座を実施して行く予定です。